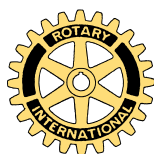


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2026～2027年度 国際ロータリー オンラインカ・ハキーム・パパロラ 会長テーマ

CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを生み出そう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 伊藤 節夫
幹事 寺田 博正
会報委員長 黒田 栄一

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3318回例会プログラム

[当年度＝1回目；当月＝1週目]

2026年（令和8年）7月6日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(7/13) ……クラブ協議会
各委員長事業計画発表
(7/20) ……休会（法定休日）

2. クラブ協議会……………〈司会：幹 事〉

- 13:00 1. 開会の言葉……………〈司 会〉
2. 新理事挨拶……………〈各理事〉
3. 閉会の言葉……………〈司 会〉

14. 点 鐘……〈会 長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散 会

会 長 報 告

- 1) 7月2日に、刈谷市長へ新年度のご挨拶を兼ねた表敬訪問を行ってまいりました。

幹 事 報 告

- 1) 例会の食事時間について
本年度も例会前の食事時間は12時からとなっております。皆様、ご協力のほどよろしくお願い致します。
- 2) 年次計画書・会員手帳について
年次計画書及び会員手帳を各会員のメールボックスへ本日、配布しております。ご確認をお願い致します。
- 3) 記念品について
本年度の奥様お誕生日のお祝いは、DEAN & DELUCA（ディーン アンド デルーカ）ステンレスタンブラーです。会員入会記念日は、ひかりの家クッキー詰め合わせを準備しております。対象の皆様は、お受け取りくださいますようお願い致します。
- 4) 理事・役員・委員長会議について
本日例会終了後、第1回の理事・役員・委員長会議を三甲ゴルフ倶楽部榊原温泉コースにて開催致します。関係者の皆様は、ご出席くださいますようお願い致します。

委 員 会 報 告

●親睦活動委員会

- 1) 本年度のゴルフ同好会の優勝賞品並びに会長杯の優勝賞品を贈呈致します。
ともに伊藤会長より頂いております。

出 席

会員総数 95名 出席免除 23名
出席義務者＋免除者の内例会出席者 85名
欠 席 10名 出席率 88.24%
前々回（6/22）の修正出席率 100%



会長あいさつ

伊藤 節夫



皆様、こんにちは
第73代会長を拝命いたしました伊藤節夫と申します
伝統と格式ある刈谷クラブの会長をつとめさせて頂くことは大変光栄であると共に重責を感じています。
会員の皆様のご指導ご協力をいた

だき1年間務めて参りたいと思います。

本日は、今年度初めての例会ですので国際ロータリーのオンラインカ ハキーム ババロラ会長のメッセージを発表致します

ナイジェリア出身 職業 弁護士

ロータリーに入るきっかけはある日テレビで見たロータリーの活動に感銘を受けて入会されたそうです。

今年度のテーマはクリエイト ラスティング インパクト
持続可能なインパクトを生み出そう

2026-27年度国際ロータリー会長メッセージ

「Create Lasting Impact (持続可能なインパクトを生み出そう)」

あらためまして皆様こんにちは

今年度会長を務めさせていただきます伊藤節夫と申します

本日は、今年度初めての例会ですので2026-27年度国際ロータリー会長、Olayinka Hakeem Babalola氏が掲げたメッセージ、「Create Lasting Impact (持続可能なインパクトを生み出そう)」についてお話ししたいと思います。

この言葉を聞いて、皆さまはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。

「インパクト」というと、大きな事業や多額の寄付、大勢の人が参加するイベントなどを想像するかもしれま

せん。しかし、ババロラ会長が私たちに伝えようとしているのは、単なる大きさではありません。

大切なのは、「その活動が終わった後も価値が残るかどうか」です。

つまり、「持続可能なインパクト」とは、一時的な成果ではなく、地域社会や人々の人生に長く良い影響を与え続けることなのです。

例えば、私たちが地域の公園を清掃したとします。

その日だけ見れば、公園はきれいになります。

もちろん、それも立派な奉仕です。

しかし、その活動を通じて地域の子どもたちが環境に関心を持つようになったり、地域住民同士の交流が生まれたり、毎年継続される活動になったりすれば、その影響は何年も続いていきます。

これが「持続可能なインパクト」です。

結果だけでなく、その先にどんな変化が生まれるかを考えることが重要なのです。

私たちロータリアンは、「超我の奉仕」という理念を大切にしています。

しかし時として、事業を実施すること自体が目的になってしまうことがあります。

毎年同じ事業を行う。

前年と同じように予算を組む。

例年通りに進める。

もちろん継続は大切です。

しかし会長は、そこにもう一歩踏み込んで考えてほしいと言っています。

「この活動によって地域はどう変わるのか」

「5年後、10年後に何が残るのか」

「私たちがいなくなった後も続く価値を生み出しているのか」

こうした視点を持つことが求められているのです。

会長は特に、「変化は自分自身から始まる」と語っています。

私はこの言葉が非常に印象的でした。

私たちは世界平和や地域社会の発展について語ります。

しかし、世界を変える前に、自分自身が変える必要があります。

例えば、

例会に積極的に参加する。

新会員に声を掛ける。

奉仕活動に一歩踏み出して参加する。

ロータリー財団について学ぶ

こうした小さな行動の積み重ねがクラブを変えていきます。

そしてクラブが変われば地区が変わる。

地区が変われば社会が変わる。

社会が変われば世界が変わる。

会長はそのような連鎖を私たちに期待しているのです。

刈谷クラブには長い歴史と伝統があります。

また同時に、社会は大きく変化しています。

人口減少。

少子高齢化。

価値観の多様化。

働き方の変化。
若い世代の地域活動への参加意識の変化。
こうした時代の中で、ロータリーも変化していかなければなりません。
変えてはいけない理念は守る。
しかし方法は柔軟に変えていく。
これもまた、持続可能なインパクトを生み出すために必要なことだと思います。
会長は、会員増強についても重要なメッセージを発しています。
会員を増やすというと、単に人数を増やすことだと思われるがちです。
しかし本当の目的はそこではありません。
ロータリーの価値を理解し、奉仕の喜びを共有できる仲間を増やすことです。
考えてみれば、私たち自身も誰かに誘われてロータリーに入りました。
先輩から声を掛けられた。
青年会議所の卒業生。商工会議所青年部方々。
ロータリー活動に感動したり。
だから今ここにいます。
もしその出会いがなかったら、ロータリーとの縁もなかったかもしれません。
つまり会員増強とは、未来のロータリーへの投資なのです。
最近入会した新会員が10年後、20年後に地域のリーダーとして活躍し、新たな奉仕を生み出していく。
それこそが持続可能なインパクトではないでしょうか。
また、私たちが見落としがちなのは、「友情」もまたロータリーの大きな成果だということです。
例会で顔を合わせる仲間。
職業の違う仲間。
世代の違う仲間。
地域を良くしたいという思いで集まった仲間。
こうしたつながりは、社会にとって大きな財産です。
災害が起きたとき。
地域課題が発生したとき。
新しい事業を始めるとき。
信頼関係のある仲間がいることで、多くのことが実現できます。
友情は数字では測れません。
しかし長い目で見ると、最も大きなインパクトを生み出しているのかもしれません。
さらに、会長はロータリーの活動を積極的に発信することの大切さも語っています。
私たちは素晴らしい活動をしていても、意外と外部には伝わっていません。
「ロータリーって何をしている団体ですか」
そう聞かれて説明に困った経験がある方もいるかもしれません。
しかし、地域の人々に活動を知ってもらうことで、新しい協力者が生まれます。
若い世代が興味を持つかもかもしれません。
企業や行政との連携も広がります。

そして何より、地域の皆さんがロータリーの存在価値を理解してくださいませ。

奉仕をすることと同じくらい、その成果を伝えることも大切なのです。

私は、この「Create Lasting Impact」という言葉を聞いて、自分自身に一つの問いを投げ掛けています。

「私たちのクラブは、地域に何を残しているだろうか」

「私たちは次の世代に何を引き継ぐのだろうか」

「今年度の活動は、10年後にも意味を持っているだろうか」

すぐに答えが出る問いではありません。

しかし、この問いを持ち続けることが大切だと思います。

最後に。

ロータリーの奉仕は、決して特別な人だけが行うものではありません。

一人ひとりの小さな行動から始まります。

新しい仲間と声を掛けること。

地域の課題に目を向けること。

奉仕活動に参加すること。

そして、ロータリーの理念を実践すること。

その積み重ねがクラブを変え、地域を変え、やがて世界を変えていきます。

2026-27年度のメッセージ「Create Lasting Impact」。

それは、「何をしたか」ではなく、「何を残したか」を考える1年にしようという呼びかけです。

私たち1人ひとりが地域社会に持続可能なインパクトを残せるよう、ともに歩んでまいりましょう。

喜 寿 の お 祝 い



杉浦 芳一 会員

古 希 の お 祝 い



吉原 孝彦 会員

お 祝 い

7月の会員の誕生日…杉浦芳一、吉原孝彦、花井淳、澤田昌秀、岡田晃一郎会員。

配偶者の誕生日…内藤久子（耕造）、岡本節子（巧）、加藤敬子（真治）、小川加奈子（耕示）、豊田亜紀（貴久）、赤川美華（一好）、厚谷彩（祐輔）、大久保真由（邦彦）様。

結婚記念日…都築浩介、杉浦祐介会員

7月度入会記念日…加藤英二、太田保、加藤繁則、盛田豊一、嶋津孝久、鈴木豊、兵藤文男、盛田高史、寺田博正、岡田行永、杉浦裕司、倉世古哲司、白石裕司会員。



寺田 博正
幹 事

1年間、よろしくお願い致します。

ク ラ ブ 協 議 会

今年度理事あいさつ



兵藤 文男
会長エレクト



深谷 嘉英
副会長



近藤 純子
直前会長



丹羽 克誌
会 計



吉原 孝彦
会場監督



鬼頭 一浩
クラブ奉仕委員長



豊田 貴久
会長/ミニ・職業奉仕委員長



新海 伸二
社会奉仕委員長



山下 雅則
国際奉仕委員長



神谷 強
青少年奉仕委員長



都築 浩介
ロータリー財団委員長



中川 耕児
米山記念奨学委員長